

未来へつづく

原道小 五年

加納

琉聖

「冷たい。」

ぼくは、思わずそう叫びそうになりました。

低学年の頃、家族と埼玉県埼玉県の東秩父村や寄

居町という町に、イワナとサワガニを取りに

遊びに行つたことがあります。川の水は透き

通つていて、すごくきれいだったのを覚えて

います。「ぼくの家家の近くにもこんなきれいな

川があつたらいいのにな。」と思ひました。

父にその話をしたら、昔はこの地区もきれいな

川が流れて、いた話をしてくれました。タナ

ゴ、というきれいな水でないと生えられない魚

も泳いでいて、シジミも取れたので川に入っ

て取つて遊んでいたそうです。今では、その

川もコンクリートで囲われた川となり、ドロ

ドロの臭いヘドロがいっぱいです。父はなん

たが残念そうでした。

ぼくの家は、利根川の下流のちにあります。

ぼくが生まれるずっと前に、台風で土手が崩

れて洪水の大きな被害にあったそうです。そのため、二度と洪水がないようにと、スーパ
ー堤防をつくりました。しかし、洪水が地域
の田畑に栄養を与え、美味しいお米や野菜の
産地として有名になったことも事実です。今
では、釣りや水上スポーツ、河川敷では、野
球やサッカー、散歩やサイクリング等にも利
用されています。

今年、宿泊学習に行くにあたり、川の事を
調べました。山などの上流では、急に降る大

雨により、洪水を起こすことがあつたそうで
す。原因の一つに、森林の伐採があるそうで
す。木の根っこは、雨水を貯めるダムのお働き
をします。しかし、人が木を身勝手に切つて
しまったことで、雨はそのまま川を流れ、土地
を崩し、洪水を起こしてしまつて、いうことを
知りました。

山も森林も川もぼく達の生活に欠かせません。
自然は未来への宝物です。環境を考え、生活
していかねばならないと強く思いました。